

第2章

子どもが大切にされるまち

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
211	こども未来部	こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	概ね目標を達成できているが、今後も利用者アンケートを活用し、利用者の意見などを参考にして、充実を図る。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を
			優先	自治事務		37,631千円	37,147千円	①延べひろば利用者数	利用者満足度	利用者安心して遊ぶことのできる場の提供が当該事業の目的であるため、利用者満足度を指標とする。	R5目標			R5実績	
			根拠法令	所沢市こどもと福祉の未来館条例		R5予算現額	R5決算額(見込み)								
			事業の目的及び具体的な内容	子ども支援センター運営事業(子育て支援)		少子化や核家族化の進行による地域のつながりの希薄化から、相談相手がおらず育児への不安を抱えている親を支援するため、4歳未満の乳幼児を対象とした子どもを安心して遊ばせることのできる場を提供し、子どもと保護者が交流する場の運営を行うことで、保護者同士で育児についての相談や交流ができる環境づくりを行うものである。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析	
							0.75人	0.1人		100.0%	98.3%				
							6,002千円	0.2人		100.0%	98.8%				
			期間	H28 ~		0.75人	0.2人	①69,388人	R6目標		こども支援センターの利用者満足度については不満・やや不満と回答した方はいなかったが、どちらでもないと回答した方がいたため目標値に至らなかった。				
						6,061千円		②98.8%	100.0%						
			211	こども未来部		こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額			項目名	
重要	法定受託事務	5,039,713千円			4,598,850千円		①2月末受給者数 ②年間手当支給額	受給者1名当たりの事務経費(正規職員人件費を含む事務経費÷受給者数)		児童手当法を遵守し、正確かつ適正な事務を行う。今年度は制度が拡充となり、昨年度と比べ経費が事務経費が増える可能性がある。	R4目標	R4実績			
根拠法令	児童手当法	R5予算現額			R5決算額(見込み)								4,528,209千円	4,215,550千円	③正規職員人件費を含む事務経費
事業の目的及び具体的な内容	児童手当支給事業	父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識のもとに、0歳から中学3年生の児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。			R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	実績		R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
					2.10人		2人			1500円	990円				
					16,804千円		2人			R5目標	R5実績				
期間	H24 ~	2.10人			2人		①20,791人	R6目標			目標達成済				
		16,970千円					②4,211,620千円	1200円		995円					
							③20,700千円(過年度分償還金200千円を除く)	R6目標		1200円					
211	こども未来部	こども支援課			実施計画ランク		事業の種類別	一般会計		R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	
			重要	自治事務	1,074,641千円	1,036,644千円	①受給者証交付件数 ②医療費助成件数		登録率(登録者数÷助成対象者数)	全ての助成対象者が、等しく医療費助成を受ける事を目標とするため、登録率を指標とする。	R4目標	R4実績			
			根拠法令	所沢市子ども医療費の助成に関する条例	R5予算現額	R5決算額(見込み)							1,237,573千円	1,193,749千円	
			事業の目的及び具体的な内容	子ども医療費助成事業	医療費の助成を行うことにより、子ども(0歳から中学3年生まで)の保健の向上と福祉の増進、子育てで家庭の経済的負担を軽減するとともに、子育てを支援することを目的とする。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合		実績	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析			
						1.63人	2人			100.0%	99.1%				
						13,043千円	2人			R5目標	R5実績				
			期間	S47 ~	1.79人	2人	①3,738		R6目標		新規登録申請はしているが、書類不備により、登録が保留となっている助成対象者がいるため。				
					14,465千円		②611,376		100.0%						

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠		
212	こども未来部	こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和5年度から病児保育の実施園が1施設増えたことにより、利用定員の拡大を図った。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用人数は少ない状況が続いているが、徐々に回復傾向にある。今後も感染症防止策を徹底しながら、市内4施設で病児保育を実施し、安心して子育てできる環境を提供する。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務		28,631千円	23,608千円							①病児保育利用者 ②病後児保育利用者		病児・病後児保育利用定員数	保護者の子育て支援を目的に4施設合わせた1日の利用定員数の充実を図る。
			根拠法令	所沢市病児・病後児保育事業実施要綱		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R4目標	R4実績						
			事業の目的及び具体的な内容	病児又は病気の回復期にあって、集団保育が困難な時期の乳幼児を一時的に預かる事業。これによって、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的とする。市内に住所を有する、小学校3年生までの児童が対象。保護者負担金は児童1人当たり日額2,000円(飲食代別)。		0.38人	0人			実績	12人			12人		目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	H9 ~		3,041千円	0人	①435人 ②51人	R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析			どのように貢献したか			
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.63人	0人	R6目標						病児・病後児期にある子の預かりを実施し、安心して子育てできる環境を整えた。	
						0.63人	0人	5,091千円	0人	16人	16人			16人		評価者	こども支援課長 田井 浩介
						5,091千円	0人			16人							
212	こども未来部	こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	全国的な保育士不足の影響で一時休止となった園があり、目標値は未達成となったが、令和5年度から事業を開始した園が1園あるため、施設数の充足を図ることができた。一時預かりの保育需要は今後も一定数あると考えるため、施設数の維持に努める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務		169,248千円	149,592千円							①年間延べ利用児童数		一般型一時預かり事業実施園	保育園等を利用していない家庭での、保護者の就労形態や生活様式の変化により、一時的な保育の需要が高まっているため、施設数の充足を図る。
			根拠法令	所沢市一般型一時預かり事業実施要綱		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R4目標	R4実績						
			事業の目的及び具体的な内容	保育所等を利用していない家庭において、就労・日常生活の突発的な事情等により、一時的に家庭での保育が困難となる場合や、育児に伴う心理的・肉体的な負担を軽減するために、保育所等において児童を一時的に預かる事業で、安心して子育てができる環境を整備することを目的とする。		0.64人	0.3人			実績	31園			28園		全国的な保育士不足の影響で保育従事者の確保が困難となり、一時休止となった園があったため。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	H27 ~		5,121千円	0.3人	①28,439人	R5目標	R5実績	全国的な保育士不足による保育従事者の確保が課題となっている。専門研修を修了した子育て支援員の配置など、柔軟な職員配置により供給量を確保できるように、実施施設に打診していく。			どのように貢献したか			
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.84人	0.3人	R6目標						一時預かり事業を実施し、安心して子育てできる環境を整えた。	
						0.84人	0.3人	6,788千円	0.3人	32園	29園			32園		評価者	こども支援課長 田井 浩介
						6,788千円	0.3人			32園							
212	こども未来部	こども支援課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	相談件数は目標達成ができていない。利用者の子育てに関する困り感に適切な支援ができるよう努める。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務		2,386千円	2,001千円							①相談件数 ②運動遊び参加人数		相談件数	利用者の必要に応じた相談や助言を行う為、相談件数とした。
			根拠法令	とことろっこ子育てサポート事業実施要綱		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	R4目標	R4実績						
			事業の目的及び具体的な内容	子育て家庭のニーズより、教育・保育施設や地域の子育て支援事業の情報提供及び子育てについての相談・助言など、利用者の必要に応じた支援を行う。子ども支援情報を総括した冊子の配布、広報、ホームページ等により告知を行い参加者を募り、教授および研究室の学生等が講師を務め運動遊びの紹介を行う。子どもたちの成長における正しい生活リズムを身に付けることの大切さを知ってもらう。		1.22人	1.9人			実績	900件			1,137件		目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
			期間	H27 ~		9,762千円	1.9人	①1,103件 ②374人	R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析			どのように貢献したか			
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	1.27人	1.45人	R6目標						利用者の話を継続して丁寧に聞いていくと共に利用者に寄り添った支援や正確な情報を提供する。また、こども支援センターの交流施設(ひろば)に出向き、より相談しやすい雰囲気や気軽に声掛けができる体制をつくる。	
						1.27人	1.45人	10,263千円	1.45人	900件	1,103件			900件		評価者	こども支援課長 田井 浩介
						10,263千円	1.45人			900件							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	R4目標				
213	こども未来部	青少年課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	子ども広場用地地権者の事情等により廃止されることもあるが、やむを得ないと考えている。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
			重要	自治事務	1,000千円	644千円	子ども広場の設置件数	子ども広場の設置件数	自治会等が設置、管理する子ども広場に係る自治会等の財政負担の軽減を図ることを目的としているため、子ども広場の設置件数を指標とする。						
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)	①子ども広場整備等実施件数	R4実績	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
			所沢市子ども広場設置事業費及び整備事業費補助金交付要綱・所沢市補助金等交付規則	1,000千円	824千円	②子ども広場設置件数									
			自治会等が子ども広場を設置・管理する場合の財政負担の軽減を図る。自治会等が子ども広場を設置・整備した場合、自治会等からの申請により、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。設置の場合は150万円を限度に、整備の場合は50万円を限度に、それぞれ事業費の2分の1を交付する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績							
			期間	0.21人	0人	38か所	38か所	38か所							
			S53 ~	1,680千円	0人	38か所	38か所	38か所							
1,293千円	0人	38か所	38か所	38か所	38か所										
221	こども未来部	こども福祉課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	重症心身障害児や医療的ケア児の受け入れ可能な事業所が開設したことにより、利用が増大した。保護者からは、利用できる場所が増えたことで、介護等の負担軽減が図れたとの声をいただいている。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務	21,852千円	19,706千円	利用延べ人数	利用延べ人数	サービスの利用状況を把握するため。						
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析						
			所沢市障害児の家族に対するレスパイトケア事業実施要綱・日中一時支援事業実施要綱	18歳未満の障害児の家族等の精神的及び身体的負担軽減を図るために、障害児を一時的に預かる日中一時支援事業を実施した事業所と、重症心身障害児等のショートステイ利用を促進するショートステイ促進事業を実施した事業所に対して補助金を交付する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績						
			0.51人	0.09人	3,576	2,817	3,240	3,483							
			期間	4,081千円	0.05人	3,483人	3,483	3,483							
			H27 ~	0.31人	0.05人	6,456	6,456	6,456							
2,505千円	0.05人	6,456	6,456	6,456	6,456										
222	こども未来部	こども福祉課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	居宅介護・短期入所等のサービスにより、家族等の介護負担軽減を図ることができた。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務	39,860千円	33,013千円	利用延べ人数	利用延べ人数	サービスの利用状況を把握するため。						
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析						
			障害者総合支援法	18歳未満の障害児の日常生活を支援し、その家族の介護負担を軽減するため、居宅での身の介護、外出の支援、短期入所のサービスを提供した場合に、事業所に対して介護給付費を支給する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績						
			0.50人	0.09人	432	408	408	453							
			期間	4,001千円	0.05人	453人	453	453							
			H18 ~	0.56人	0.05人	504	504	504							
4,525千円	0.05人	504	504	504	504										

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠						
221	こども未来部	こども福祉課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	医療的ケア児の支援に係る、関係者間での情報共有や、保護者同士の交流を目的として、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、目標回数を実施することができた。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務	157千円	72千円	①講座等の開催回数 ②講座等の参加延べ人数	講座等の開催回数	開催回数を増やすことで希望者が参加しやすくなるため。	R5年度に改善した点					11 住み続けられるまちづくりを	
			根拠法令	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)										157千円
			発達障害児等子育て応援事業	発達障害者支援法、障害者基本法	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.33人	0.01人	R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
				事業の目的及び具体的な内容	2,641千円	0.01人	実績	2	1	R5目標					R5実績	
			発達障害等に関する理解・啓発を図るために、障害児を養育する保護者や保育士等の支援者を対象にした学習講座を行う。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	2,641千円	0.01人	①3回	3	3					目標達成済	
			期間	0.35人	0人	0.35人	0人	②77人	R6目標							
			H24 ~	2,828千円		2,828千円			3							
221	こども未来部	こども福祉課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	保護者の申請に基づき、面談等により障害児への個々の支援の必要性を把握して支給決定を行っており、今後も継続して行う必要がある。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務	1,423,865千円	1,415,270千円	利用延日数	利用延日数	サービスの利用状況を把握するため。	R5年度に改善した点					4 質の高い教育をみんなに	
			根拠法令	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)										1,675,738千円
			障害児通所支援事業	児童福祉法	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	1.55人	0.09人	R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
				事業の目的及び具体的な内容	12,403千円	0.09人	実績	138,876	135,006	R5目標					R5実績	
			就学前の障害児が日常生活の基本動作の訓練等を行う児童発達支援を受けた場合や、就学後の障害児が放課後等に集団生活訓練等を行う放課後等デイサービスを受けた場合等に、通所支援事業所に対して障害児通所給付費を支給する。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	12,403千円	0.09人	142,057日	149,676	142,057					当事業は年々利用件数が増加傾向にあるが、その増加幅がやや緩やかとなったため。	
			期間	1.71人	0.1人	1.71人	0.1人	R6目標								
			H24 ~	13,819千円		13,819千円			157,164							
221	こども未来部	こども福祉課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	相談支援事業所による利用計画の作成等の支援により、課題の解決や適切なサービスの利用に繋がっており、必要な制度である(法定サービス)。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務	27,052千円	24,313千円	利用延べ人数	利用延べ人数	サービスの利用状況を把握するため。	R5年度に改善した点					4 質の高い教育をみんなに	
			根拠法令	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)										29,697千円
			障害児相談支援事業	児童福祉法	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	0.67人	0.09人	R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	
				事業の目的及び具体的な内容	5,361千円	0.09人	実績	1,715	1,361	R5目標					R5実績	
			18歳未満の障害児が利用対象である障害児通所支援事業の利用にあたり、相談支援事業所が障害児の抱える課題の解決や適切なサービスの利用に向けて、利用計画(案)の作成や、モニタリング、計画の見直しなどの支援を行った場合に、障害児相談支援給付費を支給する。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	5,361千円	0.09人	1,567人	1,645	1,567					相談支援事業所の利用は増加しつつあるが、相談支援専門員一人当たりの受け持ち件数が増加し、困難な状況にあるため。	
			期間	0.97人	0.05人	0.97人	0.05人	R6目標								
			H24 ~	7,839千円		7,839千円			1,755							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠								
232	こども未来部	保育幼稚園課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①補助実施延べ有資格者数 ②保育体制強化事業費補助金補助実施施設数 ③保育補助者雇上強化事業費補助金補助実施施設数	補助実施施設数	保育士確保や保育の質を改善するための補助金であるという趣旨や制度を理解してもらい、市内の対象施設全てに実施してもらうことを目標とする。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
			優先	自治事務		478,974千円	412,822千円						R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	所沢市特定教育・保育施設等保育の質改善費補助事業		451,141千円	444,754千円											
			事業の目的及び具体的な内容	特定教育・保育施設等に対し、有資格者給与改善、職員配置基準改善及び保育支援者・保育補助者雇用のために補助金を交付し、保育の質改善を図るものである。 (具体的な内容) ①有資格者給与改善費補助金 ②職員配置基準改善費補助金 ③保育体制強化事業費補助金 ④保育補助者雇上強化事業費補助金 ※補助金の交付は、補助単価、補助基準額及び補助限度額による。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績	69施設	69施設	目標達成済		
			期間	H27 ~		0.52人	0人						R5目標	R5実績				
						4,161千円							R6目標					
													R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①10,678人	71施設	71施設	R5目標値が未達成の理由・分析
						0.65人	0.1人						R6目標					
						5,253千円							R7目標					
															②47園			
						③35園												
										事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか							
										園での事務手続きがより簡略化できるよう、申請に当たっての様式等を工夫していく。	保育の質を改善し、児童が安心して安全な保育の提供が受けられた。							
										評価者	保育幼稚園課長 青木 穂高							
232	こども未来部	保育幼稚園課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①公立保育園混合枠受入れ数 ②民間保育園、幼稚園の補助対象児童数 ③混合保育受入れ施設数	対象児童数	数年間増加傾向となっている申請状況から、今後も同じ傾向が続くと考えられる。民間幼稚園においても発達に心配さを持ち、療育に通う児童数が増加している傾向がある。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
			優先	自治事務		132,540千円	130,095千円						R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	所沢市混合保育実施要綱 所沢市障害児保育事業費補助金交付要綱		158,760千円	158,155千円											
			事業の目的及び具体的な内容	障害のある児童を健常児と共に保育することにより、お互いの成長を促進させるための事業である。 (具体的な内容) ①混合保育入園審査会において、障害を有するが健常児の中で過ごすことにより、成長発達が促進されると判定された児童、②民間保育園、認定こども園・民間幼稚園から申請を受け、観察保育を実施した結果、補助金の交付が適と判定された児童を対象とし、対象児童の数に補助単価を乗じた金額を障害児担当保育士等の雇用費として支給する。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績	285人	321人	目標達成済		
			期間	H3 ~		22.25人	58人						R5目標	R5実績				
						178,045千円							R6目標					
													R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①127人	330人	381人	R5目標値が未達成の理由・分析
						21.89人	70人						R6目標					
						176,893千円							R7目標					
															②254人			
						③公立保育園19園、民間保育園18園												
										事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか							
										実際に児童への支援を行う職員のための研修や巡回指導の充実を図る。	補助金の交付をすることにより障害のある児童についても支援を受けながら他の児童とともに教育や保育を受けることができた。							
										評価者	保育幼稚園課長 青木 穂高							
232	こども未来部	保育幼稚園課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①対象園数 ②給食数	委託実施園数	平成28年度から令和5年度にかけて委託した12園は、契約満了ごとに引続きプロポーザル方式による委託を実施する。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を						
			最優先	自治事務		209,563千円	209,563千円						R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	
			根拠法令	所沢市定員管理計画		248,159千円	248,159千円											
			事業の目的及び具体的な内容	市立保育園における給食調理業務においては、現業職員不補充の中、園児の食物アレルギー等、多様な対応が求められている。このため、安心・安全な給食を将来的に安定して提供し、保育の一環である食育の推進を図るため、計画的な委託化を進める。 具体的には、①栄養士が作成した献立を施設内の調理室で調理等を行う。②保育士、栄養士と連携して行う食育活動を行う。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績	10園	10園	目標達成済		
			期間	H28 ~		1.35人	0人						R5目標	R5実績				
						10,803千円							R6目標					
													R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①12園	12園	12園	R5目標値が未達成の理由・分析
						0.88人	0人						R6目標					
						7,111千円							R7目標					
															②402,720食			
										事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか							
										委託化が完了している12園以外の7園について、現業職員の退職状況や園の施設状況等を考慮しながら、委託化に取り組んでいく。	安心・安全な給食を安定して提供し、保育の一環である食育の推進を図った。							
										評価者	保育幼稚園課長 青木 穂高							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額		項目名	指標名					目標設定の考え方・根拠
241	こども未来部	青少年課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	C	年により変動はあるものの減少傾向が続いており、応募作文数の増加が望まれる。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		280千円	237千円								①小学生作文応募数 ②中学生作文応募数
			根拠法令	-		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
			事業の目的及び具体的な内容	青少年を健全に育成するための最も重要な基盤である家庭を改めて認識する「日」を設定し、家庭における青少年健全育成への啓発を図る。市内小学校3年生から中学校3年生を対象に、家庭を基盤として青少年が未来に向けて考えていること(夢・希望・提案)をテーマとした作文を募集し、優秀作品を選考して、優秀者の表彰を行う。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合								R5目標
			期間	S48 ~		0.40人	0.3人	①68件	4.0%	1.7%					夏休みの必修課題となっている学校が減り、応募数が減っている。学校への広報の強化が必要である。
						3,201千円	0.3人	②263件	4.0%	1.4%					
						0.42人	0.3人	R6目標							
		3,394千円	0.3人	R6実績											
				4.0%											
241	こども未来部	青少年課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	A	青少年健全育成の実現には、継続的に啓発活動を行うことが効果的であり、全国的に展開する強調月間に合わせて本市の青少年健全育成に関わる各団体の協力を得て活動を行うことは、大変有意義であると考えている。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
			重要	自治事務		400千円	398千円								①啓発活動に協力した延団体数 ②啓発活動に協力した延人数 ③啓発活動に協力したジュニア推進員延人数
			根拠法令	-		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
			事業の目的及び具体的な内容	青少年が新たな社会の担い手として、非行に陥ることなく、豊かな個性と能力を持った人間に成長する社会環境を地域社会が主導して創っていくよう、市民全体に呼びかける。青少年の非行・被害防止及び青少年健全育成に係る街頭啓発活動を市と青少年育成市民会議の主催により、関係団体の協力を得ながら実施する。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	3,200個						3,200個
			期間	H10 ~		0.30人	0.3人	①51団体	3,200個	3,200個					目標達成済
						2,401千円	0.3人	②235人	R5目標	R5実績					
						0.44人	0.3人	③2人	R6目標						
		3,556千円	0.3人	R6実績											
242	こども未来部	こども政策課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠	B	ギフトを支給することで中学校を卒業する世代の若者を応援するとともに、申請の際にLINE公式アカウント「こども・若者情報チャンネル」に友だち登録をしてもらうことにより、これまで接点のなかった若者とのつながりができ、若者向けの情報発信ができるようになった。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			最優先	自治事務		0千円	0千円								①支給対象者数 ②支給人数
			根拠法令	-		R5予算現額	R5決算額(見込み)	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
			事業の目的及び具体的な内容	義務教育を終えて中学校を卒業する世代の若者へギフトカードを支給することにより、未来へ挑戦する若者を応援する。また、申請の際にLINEの友だちに登録してもらうことにより、高校生世代との接点を確保し、現状把握や情報発信に活用する。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	-						-
			期間	R5 ~ R5		0.00人	0人	①2,934人	R5目標	R5実績					当初の見込みよりも申請件数が少なかったため。
						0千円	0人	②2,230人	100.0%	76.0%					
						0.80人	0人	R6目標							
		6,465千円	0人	R6実績											

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)				
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
251	学校教育部	学校教育課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和5年度は、研究委託を受けた全ての学校で研究を進めることができた。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
			最優先	自治事務		2,308千円	2,205千円											
			トコろん学力向上プロジェクト事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	①研究委託校数	研究委託校における授業実績	R4目標 R4実績						R5目標値が未達成の理由・分析		
				学習指導要領		2,348千円	1,881千円											
			事業の目的及び具体的な内容	学校・家庭・地域それぞれが、「学力向上に向けた3つの目標」を踏まえた取り組みを推進し、地域総がかりで市内児童生徒の学力向上を図る。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%	R5目標 R5実績					目標達成済		
						0.90人	0人											
			期間	H23 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①17校	100.0%	100.0%	R6目標					R5目標値が未達成の理由・分析		
						7,202千円	0人											
		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%	R5目標 R5実績		目標達成済									
		0.65人	0人															
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①17校	100.0%	100.0%	R6目標		R5目標値が未達成の理由・分析									
		5,253千円	0人															
251	学校教育部	学校教育課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成しており、通常の学級、特別支援学級における配慮を要する児童に対する学習支援や日常生活上の介助などの支援が適切に行われ、一定の成果をあげていると考える。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
			重要	自治事務		193,907千円	180,052千円											
			特別支援教育支援員等配置事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	①特別支援教育支援員採用人数 ②心身障害児介助員採用人数	満足度 ※特別支援教育支援員と心身障害児介助員の平均値としている。	R4目標 R4実績						R5目標値が未達成の理由・分析		
				-		207,618千円	191,544千円											
			事業の目的及び具体的な内容	特別支援教育に関する知識や意欲のある人材を市立小・中学校に配置する。特別支援教育支援員は、全小・中学校に配置し通常学級の支援を行い、心身障害児介助員については特別支援学級等設置校に配置し、特別支援学級での支援を行う。		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%	R5目標 R5実績					目標達成済		
						0.60人	112人											
			期間	H20 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①50人 ②65人	100.0%	100.0%	R6目標					R5目標値が未達成の理由・分析		
						4,801千円	114人											
		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%	R5目標 R5実績		目標達成済									
		0.55人	114人															
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①50人 ②65人	100.0%	100.0%	R6目標		R5目標値が未達成の理由・分析									
		4,445千円	114人															
251	学校教育部	学校教育課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を達成しており、学習支援員を全小・中学校に1人ずつ配置し、教科指導において少人数指導や、児童生徒の個に応じた支援など、各学校のニーズに応じたきめ細かな指導が行われ、一定の成果をあげていると考える。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
			優先	自治事務		59,273千円	53,529千円											
			学習支援員配置事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	①学習支援員採用人数	満足度	R4目標 R4実績						R5目標値が未達成の理由・分析		
				-		59,859千円	55,790千円											
			事業の目的及び具体的な内容	原則として教員資格を有する人材を市立小・中学校に学習支援員として配置し、少人数指導など個に応じた指導の充実を図る事を目的として、学校の実情に応じて次の活動を行う。 ①授業における教科指導補助 ②少人数指導時の補助 ③英語教育、コンピュータ教育の補助		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%	R5目標 R5実績					目標達成済		
						0.30人	47人											
			期間	H14 ~		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①47人	100.0%	100.0%	R6目標					R5目標値が未達成の理由・分析		
						2,401千円	47人											
		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100.0%	100.0%	R5目標 R5実績		目標達成済									
		0.25人	47人															
		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①47人	100.0%	100.0%	R6目標		R5目標値が未達成の理由・分析									
		2,020千円	47人															

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
						R4予算現額	R4決算額		R5予算現額	R5決算額(見込み)					R4目標	R4実績
251	学校教育部	学校教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値に対しては約95%の実績となっており、県の平均正答率を上回った教科もあることから、一定の成果をあげていると考える。	R5年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに		
			重要	自治事務	17,679千円	15,383千円	①埼玉県学力学習状況調査の実施人数	埼玉県学力学習状況調査の正答率	所沢市内の児童生徒一人一人に確かな学力を身につけさせる事を目的とした事業であるため、埼玉県学力学習状況調査結果を指標としている。	R5目標値が未達成の理由・分析			ステップアップ調査の問題検討会を、コロナ禍の令和2~4年度では書面開催としていたが、5類移行後も事務の効率化のため、書面開催を継続した。また、試験後の問題用紙の回収など管理について、調査の直前にも各中学校へ通知し、重ねて周知を図った。			
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)							R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			学習指導要領	児童生徒一人一人に確かな学力を身につけさせる事を目的とし、次の活動を行う。 ①埼玉県学力学習状況調査及びステップアップ調査を実施し、児童生徒一人一人の評価資料を得て、その分析をもとに指導に活かす。 ②市独自の「学びノート」については、必要に応じてホームページからダウンロードする方法にて、学校・家庭における効果的な活用を促進する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①15,427人	実績	R5目標	R5実績			「ステップアップ調査」にて、本市の課題である記述式問題を取り入れながら改善を図る。また、ステップアップ調査の結果を分析し、さらなる進路指導の充実を図る。			
			期間	H15 ~	0.10人	0人			R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	どのよう貢献したか
					800千円	0人	R5目標	R5実績	中学2年生英語の平均正答率が54.5% (県平均53.3%) 中学3年生英語の平均正答率が53.6% (50.4%) となっているため、全体の正答率が低く算出されている。しかし、どちらも県の平均正答率を上回っており、平均正答率の数値だけでなく、県平均等との比較をもって達成状況を分析する必要がある。	R5目標			R5実績		市内全児童生徒に対して、基礎・基本の定着を図るための「学びノート」をオンラインドリルとして、授業や家庭学習にて活用した。	
					0.20人	0人	R6目標			R6目標					評価者	
		1,616千円	0人	R6目標			R6目標		学校教育担当参事 吉川 誠							
251	学校教育部	学校教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	開かれた学校づくりをさらに進めていくため、保護者や地域の方による学校運営協議会による協議が必要と考える。そのためにも各学校で、学校運営協議会委員から聴取した意見がどのように活かされたかについても把握に努めていく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			優先	自治事務	216千円	168千円	①導入校数 ②学校運営協議会委員の総人数 ③学校運営協議会の延べ開催回数	学校運営協議会委員の協議会参加率 (実施校の参加延べ人数 ÷ 実施校の延べ人数)	学校運営協議会の目的が達成されているかを測るため、多くの委員の参加を求めるところから、参加率を指標とする。	R4目標			R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度新規事業
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容												R4目標
			地方教育行政の組織及び運営に関する法律	学校・家庭・地域が学校教育目標のビジョンを共有し、社会総がかりで子どもたちを育むことを目的として、小・中学校に学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を導入し、保護者や地域住民による学校運営への必要な支援に関する協議を行う。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①4校 ②22人 ③9回	実績	R5目標	R5実績			学校・家庭・地域それぞれが自分事として学校課題を共有し合意形成を行うことが必要となる。このため研修等により、学校運営協議会委員の理解向上に努めていく。			
			期間	R5 ~	0千円	0人			R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	17 パートナースhipで目標を達成しよう
					0.45人	0人	R5目標	R5実績	80.0%	84.8%			目標達成済		どのよう貢献したか	
					3,636千円	0人	R6目標			R6目標					評価者	
				R6目標			R6目標		学校教育担当参事 吉川 誠							
251	学校教育部	学校教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	当初の想定より多くの児童・学習ボランティアに参加してもらい、事業目的を概ね達成することができた。参加児童、保護者、ボランティアの方々から好評価であり、中学生のキャリア教育、体験活動にもつながった。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
			最優先	自治事務	638千円	457千円	①実施会場数 ②参加児童数(実人数)	参加児童へのアンケート結果 設問a:参加する前より計算力が上がったと思いますか。→「そう思う」と答えた割合 設問b:参加して、算数は楽しいと思いましたが。→「そう思う」と答えた割合	本事業を通して、所沢市の子供たちの学力向上及び学習意欲の向上を図るためには、参加児童を対象としたアンケートも同時に検証する必要がある、アンケート項目を指標としている。	R4目標			R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析	R5年度新規事業
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容												R4目標
			「トコロン のびのび塾」算数基礎学力向上プロジェクト事業	地域の教育力を活用し、所沢市の子供たちの学力向上及び学習意欲の向上を図る。 ①市内の小学3年生から6年生の児童を対象に、「数と計算」領域を中心に算数の学力向上を図る。 ②ボランティアの方々の協力のもと個別の学習支援を重質させ、「できた」「わかった」という達成感が味わえるようにする。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	①1会場(教育センター) ②117人	実績	R5目標	R5実績			複数開催に向けての開催形式等の見直し、学習支援のための手立て、学習ボランティアの確保など。			
			期間	R5 ~	0千円	0人			R4目標	R4実績					R5目標値が未達成の理由・分析	どのよう貢献したか
					0.50人	0人	R5目標	R5実績	90.0%	a 92.3%・b 91.4%			目標達成済		アンケートの結果などから、本事業の学習を通して、大多数の児童が計算力向上の実感を持っている。	
					4,041千円	0人	R6目標			R6目標					評価者	
				R6目標			R6目標		学校教育担当参事 吉川 誠							

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠						
251	学校教育部	教育センター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①研修会参加者満足度	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	A	当初予定した15研修会全てを実施できた。参加者の満足度が100%に近いため、目標を達成できたといえる。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			重要	自治事務		135,485千円	119,766千円							内容についての参加者満足度		「大変よかった」「よかった」の回答数/アンケート回答数
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	R5目標値が未達成の理由・分析									
			学習指導要領	136,403千円		106,494千円								R5目標		R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	R5目標値が未達成の理由・分析									
				1.24人		会年職員等 40人								R4実績		R4実績
				9,922千円										R5実績		R5実績
期間	【目的】今日の教育課題を踏まえ、幅広い見地から情報を得ながら、教員の指導力向上に向けた実践的な教育についての研修の場を提供するとともに、人的支援を行うことで、児童生徒の学力向上を図る。 【内容】①学校力向上プログラムにて市内小・中学校の校内研修をサポートし、市内に広める研修会を実施②今日の教育課題や教科等における指導力向上の研修会を実施。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標値が未達成の理由・分析												
H14 ~	1.23人	会年職員等 36人	R5実績		R5実績											
	9,940千円		R6目標		R6実績											
251	学校教育部	教育センター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①「英語サロン」の参加者数	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	A	参加者の満足度が100%のため、目標を達成できたといえる。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			重要	自治事務		12,533千円	11,924千円							内容についての参加者満足度		「大変よかった」「よかった」の回答数/アンケート回答数(次年度、英語サロン廃止に伴い、評価項目及び評価指標を変更予定のため、R6目標は未記載)
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	R5目標値が未達成の理由・分析									
			学習指導要領	13,065千円		12,267千円								R5目標		R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	R5目標値が未達成の理由・分析									
				0.32人		会年職員等 16人								R4実績		R4実績
				2,561千円										R5実績		R5実績
期間	【目的】小学校外国語支援員を派遣し、担任が行う外国語活動の授業を支援するとともに、外国語活動の充実を図る。 【内容】小学校外国語支援員(16名)を市内32校に派遣し、3・4年生外国語活動、5・6年生外国語科の授業に配置している。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標値が未達成の理由・分析												
H23 ~	0.73人	会年職員等 16人	R5実績		R5実績											
	5,899千円		R6目標		R6実績											
251	学校教育部	教育センター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①研修会参加者満足度	R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析	A	研修会の参加者の満足度が100%に近いため、目標を達成できたといえる。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			重要	自治事務		1,060千円	85千円							内容についての参加者満足度		「大変よかった」「よかった」の回答数/アンケート回答数
			根拠法令	R5予算現額		R5決算額(見込み)	R5目標値が未達成の理由・分析									
			教育公務員特例法	998千円		110千円								R5目標		R5実績
			事業の目的及び具体的な内容	R4正規職員人件費		R4その他職員従事割合	R5目標値が未達成の理由・分析									
				2.10人		会年職員等 0人								R4実績		R4実績
				16,804千円										R5実績		R5実績
期間	【目的】教員としての多様なキャリアステージに応じた研修の場を提供し、広い視野と実践的指導力を養うとともに、人間性や社会性を高め、教員としての資質向上を図る。 【内容】①年次経験者研修支援②2年次教員研修③ミドルリーダー研修員研修④校内研修指導者派遣⑤研究員合同研修会⑥校務分掌等に応じた10の研修会の実施	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標値が未達成の理由・分析												
S46 ~	1.48人	会年職員等 0人	R5実績		R5実績											
	11,960千円		R6目標		R6実績											

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠					
253	学校教育部	学校教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	各学校では、特色ある学校づくりの配当予算を有効に活用し、工夫し特色のある学校経営を行っており、学校教育が社会に開かれ家庭・地域との連携も進んでいる。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			重要	自治事務	11,861千円	11,853千円	①特色ある学校づくり実施校 ②1校・園あたりの平均配当予算額	ヒアリング等に基づいた各校(園)の成果の評価点(10点満点)の平均点。 地域の人材や環境を活かした創意工夫のある教育活動を実践した結果を検証するため、各校(園)の成果の評価点の平均点を指標とする。	R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析		
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)				R4実績			R5実績		
				特色ある学校づくり支援事業実施要綱	9,402千円	9,396千円	①47校・1園	9点	9点	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
				小・中学校・市立幼稚園が、地域の環境や人材を生かし、創造性あふれる教育課程を実施する。 ・学校・園教育目標の具現化についての指導・助言を行う。 ・「総合的な学習の時間」の充実を図る。 ・郷土の資源を活かした昔遊びや農業体験など、体験活動の充実を図る。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	9点	9点				どのよう貢献したか		
			期間		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①47校・1園	9点	9点	本事業の予算配当などの事務について効率化を図り、職員の業務負担軽減に努める。					
			H13 ~		6,402千円	0人	②195,733円	R6目標		子どもたちの主体的な学びにつながる教育環境の整備を進めた。					
					0.40人	0人		9点		評価者					
		3,232千円	0人				学校教育担当参事 吉川 誠								
253	学校教育部	学校教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	これまでも学校内外に児童生徒理解の充実についての啓発を行ってきたが、日常的な指導の工夫の重要性(例えば、授業規律の確立や明るく清潔な校内環境、特別支援教育の視点を取り入れた指導、定期的な学校内外の巡視等)について、引き続き具体的な例を示すなどして啓発していく。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに	
			優先	自治事務	13,460千円	12,997千円	①安全安心対策推進員による学校訪問、地域に出向いての支援活動回数 ②推進支部会議の開催回数	暴力行為により指導を受けた児童生徒実人数。(12月末日現在) 事業開始の背景に、学校内における暴力行為が深刻化したことがあった。そのため、暴力行為により指導を受けた児童生徒数を指標とする。	R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析		
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)				R4実績			R5実績		
				所沢市安全・安心な学校と地域づくり推進本部条例、安全安心対策推進員設置要綱	13,472千円	12,849千円	①416回	100人	64人	例年、故意的な暴力を計上している。各校に丁寧な聴き取りを行ったことで、精査されたため。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
				学校と地域が連携して危機管理体制を整え、学校内外での事故や事件を未然に防止すると共に地域の交通安全の推進・防犯体制の強化を図り、安全で安心な学校と地域を構築して学校を支援する。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	100人	93人				どのよう貢献したか		
			期間		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①416回	100人	93人	非行問題行動、交通事故を学校だけで防ぐことは困難である。家庭の協力、地域との連携を深め、地域ぐるみで子どもたちを守り、育てるという考え方を啓発していく。今後も児童生徒の健全な育成を目指して関係諸機関との連携・充実を図っていく。					
			H17 ~		0.60人	3人	②38回	R6目標		学校が地域と連携して学校内外における児童生徒の事件、事故及びいじめの防止等を図ることにより安全・安心な学校と地域づくりを推進している。					
					4,849千円	3人		指標変更予定		評価者					
							学校教育担当参事 吉川 誠								
253	学校教育部	学校教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	外部指導員により、部活動の技術向上や活発な活動の充実につながっている。	R5年度に改善した点	4. 質の高い教育をみんなに	
			重要	自治事務	2,700千円	2,668千円	①外部指導員数 ②外部指導員配置校数 ③指導回数	全国大会・関東大会出場部活動数。 外部指導員によって部活動の技術向上や活発な活動につながったことを、目に見える成果として確認するため、全国大会・関東大会出場部活動数を指標とする。	R4目標	R4実績			R5目標値が未達成の理由・分析		
			根拠法令	事業の目的及び具体的な内容	R5予算現額	R5決算額(見込み)				R4実績			R5実績		
				所沢市立中学校部活動外部指導員設置要綱	2,700千円	2,391千円	①64人	5部	6部	目標達成済			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み		
				学校の部活動の充実・発展を図る。 ・各中学校で外部指導員を選出し、校長の推薦により教育委員会が委嘱する。 ・外部指導員は、顧問と連携し生徒の指導をする。 ・活動報告書により、3期に分けて外部指導員に謝金を支払う。	R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合	実績	5部	6部				どのよう貢献したか		
			期間		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①64人	5部	6部	地域における指導者の人材発掘と適正な活動を実施するために、各学校で部活動顧問と外部指導員との連携強化を図っていく。					
			H11 ~		800千円	0人	②15校	R6目標		生徒は指導費の負担を気にすることなく、平等に質の高い専門的な指導を受けることができた。					
					0.10人	0人	③2,391回(報酬有分)参考:報酬辞退者(2名)計202回	5部		評価者					
		808千円	0人				学校教育担当参事 吉川 誠								

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠						
254	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①体育の授業を行うことに難しさを感じている小学校教職員の割合	体育の授業を行うことに難しさを感じている小学校教職員の割合 (R1～R3の3年間の割合の平均値を下回ることを目標として設定する)	前回までの指標は小学校の運動クラブに所属する児童の割合であったが、事業の目的を評価する上で適切ではない為、新たな指標とした。児童全員に確保されている運動の場は学校で行う体育の授業である。体育の授業を指導する小学校教職員が体育の授業を自信をもって指導することが、運動好きな児童を育成することに直結すると考え指標とする。	B	学習指導要領の趣旨に基づいた実技伝達講習会の充実で、教師の指導力の向上を図っている。授業研究会や親善体育大会等の充実で、児童の体力向上を図り、運動好きな児童の育成を図るこの事業の役割は大きい。継続的に取り組みを支援し、目標達成が出来るようにする必要がある。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務		380千円	380千円						R5目標		R5実績	
			根拠法令	スポーツ基本法、小学校体育連盟補助金交付要綱		R5予算現額	R5決算額(見込み)						R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						実績		72.0%	83.0%
			期間	所沢市内の小学校体育事業の充実を図り、児童のスポーツの振興と体力の向上するための事業を支援する。 ・小学校教員の体育授業の指導力向上を図るための授業研究会の実施。 ・児童の体力向上を目的に、市内小学校を15ブロックに分けた「親善体育大会」の実施。		0.26人	会年職員等 0人						R5目標		72.0%	76.3%
			S24	～		2,081千円	0人						R6目標		72.0%	
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						①76.3%			
254	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①所沢市立中学校全生徒の新体力テストの分析	県の標準値を上回る当市の項目数	48項目中、7割以上の項目が上回るように目標を設置。	B	成果指標の目標値を毎年達成しており、体力調査事業については、一定の成果があがっていると考えている。今後、より一層各学校の生徒の実態を把握し、指導等にいかせるように各学校へ働きかけていきたい。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務		1,211千円	1,044千円						R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	スポーツ基本法		R5予算現額	R5決算額(見込み)						実績		35項目	28項目
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						R5目標		35項目	27項目
			期間	生徒自ら自己の体力を理解し、自らの健康の保持増進と体力向上を図ろうとする態度を育てることを目的としている。また、教師が生徒の体力の実態を把握し、指導等に活用するため。		0.12人	会年職員等 0人						R6目標			
			H15	～		960千円	0人						35項目			
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						①27項目			
254	教育総務部	スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	①所沢市中学校体育連盟主催大会参加者の割合	部活動大会に参加した生徒の割合 (大会参加者数÷生徒総数×100)	県中学校運動部活動の入部率が約72%であり、同等の数値としていたが、新型コロナウイルス対策として、引き続き大会参加人数の削減がおこなわれていることからこの数値にしている。	B	中学校における運動部活動の意義は、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、体力向上にも大きな役割を果たしている。しかしながら、国が進める休日の部活動の地域移行について少子化による部員数の減少、生徒の多様なニーズに合わせた活動環境の整備、教員の業務負担軽減の観点から、所沢市においても推進していることから、今後の中体連の在り方についても、協議していく必要がある。運動好きな生徒の育成を図るため、関係機関と連携し、教員のスキル向上と競技力の向上を目指したい。	R5年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
			重要	自治事務		968千円	968千円						R4目標		R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			根拠法令	スポーツ基本法、中学校体育連盟補助金交付要綱		R5予算現額	R5決算額(見込み)						実績		60.0%	66.2%
			事業の目的及び具体的な内容	事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合						R5目標		70.0%	不明
			期間	所沢市内の中学校保健体育を振興し、体力の向上やスポーツ精神を養うために組織されている団体を支援している。当該団体では、事業計画に従い、教員の指導力の向上を図るための授業研究会や、生徒のスポーツ精神の涵養や体力向上を図るため、部活動の大会を運営している。		0.26人	会年職員等 0人						R6目標			
			S24	～		2,081千円	0人						100.0%			
						R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						①不明			

計画コード	所属名称(部局)	所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
					会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目			
						R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠								
256	教育総務部	教育総務課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	義務教育の円滑な実施という点において、一定の成果があげられていると考えている。	R5年度に改善した点	1 貧困をなくそう			
			重要	法定受託事務+附加		156,960千円	135,731千円											
			就学援助事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	①支給金額	支給対象人数	義務教育の円滑な実施に必要なため、支給対象人数を指標とする。								
				後援補助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱 所沢市就学援助実施要綱		154,765千円	134,178千円									②一人当たりの支給額		
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
			期間	S57 ~		経済的な理由により、子どもを小中学校に就学させることが困難な保護者に必要な援助を行う。 ①申請書を小中学校または教育総務課にて配布・受付する。 ②実施要綱に基づく所得審査により支給対象者を決定(認定)する。 ③認定者には学用品費等を支給する。	1.53人	会年職員等	0人	実績	4,381					3,253	保護者からの申請により支給を行うものだが、予測より申請件数が少なかったため。	
							12,243千円	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		R5目標					R5実績		
1.08人	会年職員等	0人			①134,177,362円		4,090	3,184										
			8,727千円					②42,141円	R6目標			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
											評価者	児童生徒がいる低所得世帯に必要な経済援助をすることで、教育環境の向上に貢献した。						
											教育総務課長 鈴木 健							
256	学校教育部	教育センター	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	小学校3、4年生に副読本を確実に配付し、社会科の授業を充実させた。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
			優先	自治事務		1,433千円	1,166千円											
			小学校社会科副読本作成委託事業	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	①副読本活用状況	副読本活用率	副読本を活用した学級の割合								
				学習指導要領		2,750千円	2,750千円									R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									実績	100.0%	100.0%
			期間	R4 ~		【目的】 学習指導要領に基づき、本市独自の社会科副読本を作成することで、社会科の指導内容の充実を図り、児童自身が住む郷土を正しく知り、ふるさと所沢を愛する児童の育成に寄与する。 【内容】 小学校第3学年、第4学年に配布する副読本、それぞれ2800冊の作成・印刷を委託するもの。	0.57人	会年職員等	0人	①100%	R5目標						R5実績	
							4,561千円	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		100.0%						100.0%	
0.51人	会年職員等	0人			R6目標													
			4,121千円								評価者	副読本を充実させるため、引き続き内容に係る研究を進めていく。	ふるさと所沢を愛する児童の育成に寄与し、住み続けられるまちづくりの意識の向上につなげた。					
											教育センター担当参事 中村 啓							
257	経営企画部	経営企画課	実施計画ランク	事業の種類別	一般会計	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	誘致については、開発行為など解決すべき様々な課題が想定されることから、昨年度と同様、関係各所との情報共有と十分な調整を行い、令和6年の開校に向け、事業の円滑な推進に努める。	R5年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに			
			重要	自治事務		0千円	0千円											
			私立学校誘致推進事務	根拠法令		R5予算現額	R5決算額(見込み)	①学校法人、県及び市の関係部署と調整し、誘致に向けた課題解決を図る	誘致に向けた調整等の推進	誘致については、開発行為など解決すべき様々な課題が想定されることから、昨年度と同様、関係各所との情報共有と十分な調整を行い、令和6年の開校に向け、事業の円滑な推進に努める。								
				-		0千円	0千円									R4目標	R4実績	R5目標値が未達成の理由・分析
				事業の目的及び具体的な内容		R4正規職員人件費	R4その他職員従事割合									実績	推進	推進
			期間	H25 ~		教育環境の充実を図るため、特色ある私立学校を誘致する。	0.13人	会年職員等	0人	①学校法人及び自治体との情報共有や開発指導など、開校に向けて最終調整を行った。	R5目標						R5実績	
							1,040千円	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合		推進						推進	
0.14人	会年職員等	0人			R6目標													
			1,131千円								評価者	開校後の産官学連携等、状況に応じた調整を行っていく。	市内の教育の場を誘致するべく、必要な調整を行った。					
											経営企画課長 並木 茂幸							